

# 「こんなことをしてほしい」を実現!!

## 看護部催事プロジェクト

看護部催事プロジェクトは2012年(平成24年)にできました。

このプロジェクトは

- ・催事などを通して市民が健康に興味を持つことができる。
- ・市民が病院や職員の活動を知る機会となる

を目的としています。



5月14日看護フェスティバル

今年度最初は、5月14日に開催された看護フェスティバルの企画運営を行いました。当日は135名の方にご参加いただき、プロジェクトメンバー一同大変喜んでおります。

プロジェクトメンバーは総勢10名、入職3年目の若いスタッフから開院当初から働いているスタッフ(入職26年目)まで、年齢層も広く、月に1回の話し合いの場でもいろいろなアイデアが次々と生まれ、活気あるメンバーばかりです。患者さんの「こんな事をやってほしい」、看護師の「こんな事をやりたい」を形にしていくことは大変ですが、碧南市民病院の理念「温かな心のこもった医療の提供」を念頭に、地域の皆さんに愛着を持っていただけるように、今後も興味の持てる楽しい企画を考えていきたいと思っています。



小学生病院体験ツアー、薬剤部調剤体験(昨年の様子)



看護部催事プロジェクトメンバー

	日付	イベント
今後の予定	7月31日(木)	小学生病院探検ツアー(申込は終了しました)
	9月10日(水)	看護フェスティバル(骨密度測定<無料>あり)
	10~1月	いきいき健康講座(予定)

皆様のご参加を心からお待ちしています。



## 目で見て感じてわかる糖尿病教室

近年、糖尿病および糖尿病予備軍と言われる人は、増加の一途をたどり、食事・運動療法といった治療を生活の中で患者自身が行わないといけな疾患です。症状は殆どないことが多いですが、放っておくと心臓病や脳血管障害といった生命に危険のある合併症や腎臓病や網膜症・足壊疽といった足の病気になることが多く、生活に支障が出る事が考えられます。

当院では、その予防や悪化を防ぐために、より多くの患者さんに正しい知識を持っていただけるような糖尿病教室を開催しています。誰でも出来る実践的な内容で、患者さん同士が話し合えるような雰囲気のある教室にしています。糖尿病療養指導士や認定看護師などの糖尿病の専門的な資格を持ったスタッフや栄養士や検査技師、歯科衛生士など多くの医療スタッフが担当しています。



受講テキスト

1. 開講日時: 14:00 ~ 16:00

目で見て感じてわかる糖尿病教室		
1. 誰でもできる食事療法のコツ 普段の食事を振り返り、簡単にできる減量方法を一緒に考えます	8月12日(月)	12月2日(月)
2. あなたが変わる運動のコツ 室内でできる運動をみんなで一緒にやります	10月28日(月)	H26年 2月3日(月)
3. 合併症を防ぐカギ 動脈硬化について検査体験や歯周病対策として口腔内のケアを行います	11月11日(月)	H26年 3月10日(月)

2. 受講申し込み: 開催日の1週間前までに、内科外来、眼科外来、口腔外科外来、栄養相談室前、生理検査室前に設置してある申し込み用紙に記入し内科外来にお持ちください。
3. 開催場所: 碧南市民病院2階講義室(当日は案内板を用意します)
4. 持ち物および服装: 筆記用具、運動療法時にはお茶または水をお持ち下さい。また、運動しやすい服および靴でお越しください。
5. 参加費: 資料代500円



受講風景

皆様のご参加をお待ちしています。

## 新任医師紹介

①名前(かな) ②所属 ③前任地 ④ひとこと



①橋詰 清孝(はしづめ きよたか)  
②消化器内科  
③豊田厚生病院  
④どのような病気も早期診断・早期治療が肝要です。消化器の病気は身近なものが多く、気になる症状があればいつでも受診してください。質の高い医療を提供できるように努めています。

サポートします！

# “お母さん”への道

当院の助産師は妊娠中、分娩、産後の時期に合わせて様々な教室を開催しています。



母乳外来



ベリードダンス



カンガルーケア



## <妊娠中>

赤ちゃんを授かった時から、マタニティーライフがスタートします。産前教室では妊娠中の生活や分娩に向けて知っておいて欲しい事をお話したり、相談に応じたりしています。ママクラス①～③（第1木曜日）・パパママクラス（第4木曜日）や安産を目指した体力作りのためのマタニティーヨガ（第1・3火曜日）・安産ベリードダンス（第2火曜日）を行っています。助産外来では完全予約制で助産師が妊婦健診を実施し一人ひとりに合った指導を行っています。

## <分娩>

お産は人生の一大イベントです。助産外来での保健指導や各クラスでの講座を通してバースプランを考えていただき、出産時に産婦さんの持っている「生む力」を最大限に引き出せるようサポートします。希望者にはフリースタイル分娩や夫立ち会い分娩、カンガルーケアを実施しています。

## <産後>

出産後は待ちに待ったかわいい赤ちゃんとの生活が始まります。赤ちゃんとの生活がスムーズにスタートできるように優しくサポートし、母乳育児を基本に必要な知識やコツをお教えします。退院後は1週間健診（毎週水曜日）や母乳外来（毎週月・金曜日）で継続してフォローさせていただきます。2ヶ月～6ヶ月の母子を対象にしたミナミルーム（第4火曜日）も開催しています。

お子様との素敵な出会い、楽しい生活が送られることを願ってお手伝いしています。

私達助産師は、妊娠中から出産後まで全力でお母さんと赤ちゃんを応援しています!!



助産師一同

# 診療支援・チーム医療への新たな貢献

中央検査室 室長 大坪盛夫

中央検査室は、病院の理念を指標に

①診療への貢献、②教育・研修への貢献、③検査医学への貢献と 3つの目標があります。特に①診療への貢献には、チーム医療に参画することが不可欠で重要と考えています。

近年の取り組みとして、平成22年度より検体検査部門（病理、細菌を含む）における検査機器等のレイアウトを変更し、動線を短くし、検査依頼から結果報告までの時間（TAT）短縮の実現と検査試薬等のコスト削減に努力し、迅速で安全かつ質の高い検査データの提供を行っています。

そして、中央採血室では勤務時間を通常より15分早くし、採血業務を8時15分から開始しています。15分早く採血を行うことで、待ち時間の短縮や採血後の患者移動、画像検査などの外来検査が円滑になり、検査結果の迅速化が実現し患者サービスや診療支援に繋がっています。

POCT 機器（患者さんの傍らで行う検査機器）を救急外来及び病棟で設置し、現在31台が稼働しています。POCT 機器の精度保障管理を臨床検査技師が行うことで、検査データの安全性が向上し、安心して臨床検査技師以外の医療従事者が使用する

ことができます。

また、院内感染対策チーム（ICT）、糖尿病の療養指導などチーム医療にも貢献しています。院内感染対策として感染の動向や耐性菌情報などを迅速に報告したり、自動細菌同定感受性測定装置フェニックス100を導入することにより短時間で検査結果を報告しています。糖尿病療養指導としては、糖尿病教室や糖尿病予防部会に糖尿病療養指導士資格者6名が参画しています。

検査室は16名（非常勤5名）の人員で、これからも検査項目の見直しや効率的な業務運営に日々努力し、多数の医療機器を使用して救急医療の検査に24時間体制で取り組み、多種業務ができる技師の育成やICT、栄養サポートチーム、リスクマネジメントチームなどのメンバーとしてチーム医療に積極的に取り組んでいきます。



中央検査室スタッフ（16名）



自動血球測定装置 コールター LH750



右：自動細菌同定感受性測定装置 (DB フェニックス100)



自動染色装置・自動ガラス封入装置連結タイプ（サクラ精機 Tissue-Tek）



自動生化学分析装置（東芝 C-80000）免疫測定装置（アボット i2000）連結タイプ

